

議案1 クリーンセンター条例の制定 (平成24年4月施行)

一般廃棄物の適正処理と再資源化を行い循環型社会の形成のため、クリーンセンターを芦辺町住吉東触(旧芦辺町クリーンセンター跡地)に建設した。これに伴い郷ノ浦町、勝本町、石田町のゴミ処理場は廃止となる。



クリーンセンター

議案2 汚泥再生処理センター条例の制定 (平成24年4月施行)

し尿、浄化槽汚泥等を適正処理し、発酵汚泥をペレット状の堆肥に製造して再資源化するための施設を新たに郷ノ浦町坪触に建設した。これにより郷ノ浦町浄化センターと芦辺町、石田町の自給肥料供給センターは廃止する。

- 堆肥の料金
- ・袋詰堆肥(15kg) 1袋50円
 - ・計量堆肥(10kgあたり) 30円

12月議会



こんなことを
決めました。

議案3 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正 (平成24年4月施行)

クリーンセンターの建設に伴う処理手数料等の見直し。

- ・粗大ゴミシールは100円と500円シールを廃止し、200円シールのみとなる。
- ・持込手数料は20kgまで100円、10kg増すごとに50円の超過料金を加算する。



Q 指定のゴミ袋での持込は無料か。また、施設が市内1ヵ所となればゴミの持込が集中し混雑するのでは。

A 指定袋での持込料金は無い。可燃・リサイクル・粗大ゴミと区分をしていたらスムーズな受け入れができる。出来る限りゴミ・リサイクルステーションを利用してほしい。



汚泥再生処理センター

議案4 自給肥料供給センター条例の一部改正(平成24年4月施行)

蓄尿と焼酎粕、洗米水等を原料とした液肥製造については、平成18年度に稼動した勝本町自給肥料供給センターに一元化するため料金等を改正する。

- ・液肥散布料金：バキューム車1台(1.8トン)まで500円
- ・蓄尿収集料金：バキューム車1台(1.8トン)まで300円
- ・焼酎粕受入料金：1トンあたり5,000円
- ・洗米水受入料金：1トンあたり200円



Q 蓄尿が不足するため焼酎粕や洗米水、生ゴミを入れて液肥をつくるというのが年間計画量。

A 家畜尿3,000トン、生ゴミ1,000トン、焼酎粕1,500トン、洗米水2,500トンで、年間8,000トンの液肥を確保する。(生ゴミは25年度以降)



勝本町自給肥料供給センター

Q これまでの液肥とは成分が変わるのではないか。

A チッソ・リンはこれまでより高い濃度、カリは不足する見込みであるが、牛フン堆肥等で補える。



どえーな 補正予算 のあと？

議案6

H23年度一般会計補正予算(第8号) 1億2千721万8千円追加 (総額 238億9千770万円)

◆水産整備基盤事業

3千845万円追加

八幡浦漁港整備に国県の内示額が増額し(外防波堤70m)を整備する。

国3千万、県65万6千円、地方債500万円、一般財源279万4千円。



Q 八幡浦漁港外防波堤工事は、いつから始まりいつ終了しその総事業費は。

A 平成14年から26年までの計画で、10年目の平成24年度には国の再評価を受ける。今年度まで39億円(国県補助金32億円)、総事業費は49億円が見込まれる。

◆強い水産業づくり交付金事業

4千900万円減額

箱崎地区給油用浮桟橋設置事業が国の採択基準外となったため減額。



Q 恵美須漁港と諸津漁港のポンツーン事業が対象外となった理由は。

A 国の制度の見直しに伴う対応が出来なかった。

◆全国離島ゲートボール親善大会開催委託事業費

285万円減額

東日本大震災に伴う補助金の減額によるもの。大会の総事業費は1千700万円で、県補助金が750万円で壱岐市が950万円の精算見込み。

島外から57チーム約350名が来島され、約1千100万円の経済効果があった。



全国離島交流ゲートボール大会(11月4~6日)

◆障害者自立支援事業

706万4千円追加

移動支援事業の利用者数が増えた事による増額補正。



Q この扶助費を利用されるのはどのような場合か。

A 障害者の方が通院をされる時、車イスのまま乗り込める福祉車両で送迎を行う場合の車両移送支援費と、介護や見守りを必要とする方への個別移動支援との2種類がある。



◆文化財調査費

448万4千円追加

国宝重要文化財等保存整備事業で原の辻遺跡ホームページの作成費。



Q 金額的に高いと思うが、算出根拠とホームページの内容は。

A 新規のホームページ開設で、デザイン料、プログラム開発料、資料のデータ処理料となる。内容は原の辻特別遺跡に特化したもので、学術的な要素を持ち国内外の大学や博物館、考古学者などへの調査研究資料として公開する。

特別会計の補正予算

- ※ 国民健康保険補正予算(第3号)
- ※ 介護保険事業補正予算(第2号)
- ※ 簡易水道事業補正予算(第3号)
- ※ 下水道事業補正予算(第2号)
- ※ 特養ホーム事業補正予算(第2号)
- ※ 三島航路事業補正予算(第2号)
- ※ 農業機械銀行補正予算(第2号)
- ※ 病院事業会計補正予算(第2号)
 - 市民病院 収益的支出
 - かたばる病院収益的収入
 - // 収益的支出
- ※ 水道事業会計補正予算(第1号)
 - 収益的収入
 - 収益的支出
 - 資本的収入
 - 資本的支出

補正予算額

5,504万7千円追加
6万6千円減額
916万4千円減額
37万7千円減額
233万5千円追加
3万5千円減額
500万円 追加
1,075万円 減額
1,454万5千円追加
269万5千円追加
1万4千円追加
12万9千円追加
80万円 追加
80万円 追加

補正後の予算額

47億4千624万円
29億 209万8千円
9億1千872万1千円
4億1千427万9千円
4億6千776万6千円
1億2千378万円
1億3千659万1千円
25億7千527万8千円
3億7千441万8千円
3億9千495万8千円
1億6千 73万6千円
1億4千485万6千円
505万3千円
1億5千780万1千円

陳情 1

郵政改革法案の早期成立を求める陳情

(9月議会より継続審査していたもの)

従来の郵便局は、地域社会において「情報」「安心」「交流」の拠点としての役割を担っており、特に離島・過疎地域である壱岐市においては、地域住民の利便性等に大きく貢献していたものであるが、平成19年10月、郵政民営化法に基づき郵便・貯金・保険の郵政三事業は民営・分社化され、郵便外務員に貯金・保険の取扱いを依頼できない、郵便局への郵便の問い合わせができない等、サービスダウンが生じ地域住民から不満の声が多く寄せられている。

昨年4月郵政改革法案が閣議決定され通常国会に提出されたが、現在たなごらしの状態が続いている。一刻も早く郵政改革法案を成立するよう強く要請するもので採択とし、総理大臣外関係機関へ意見書を提出した。

陳情 2

壱岐市の奨学金貸与制度の改善を求める陳情

将来を担う未来の子ども達の進学環境を良好にしたいと陳情の趣旨は十分理解するものの、2つの奨学金を併用し貸与することは困難とし不採択。(10ページに関連記事)

陳情 3

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する陳情

義務教育国庫負担制度は、教育の機会均等と義務教育無償の原則として子どもたちが等しく教育を受けられるよう制定されたもので、国の最低保障として国庫負担を1/2に復元し、この制度を堅持していくことを求めるもの。採択し、総理大臣外関係機関へ意見書を提出した。

議員発議 1

指定外来種等による生態系等に係る被害の防止に関する条例の制定

〈指定外来種〉

- ①この条例の指定外来種とは、島外から壱岐市に導入され、従来から生息する生物とその性質が異なることにより生態系等に被害を及ぼすおそれのある生物を市長が規則で定めることができる。
- ②市長が定めた指定外来種生物を飼養・保管及び輸送し、放ってはならない。
- ③指定外来種生物を学術研究及び興行目的のため飼養等しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。
- ④この規定に違反した者は、1年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処す。
- ⑤指定外来種生物の防除の実施が必要となった場合、その行為をした者に費用の全部又は一部を負担させることができる。

〈指定野生鳥獣〉

- ①農林水産業等に被害を及ぼしている野生鳥獣種がある場合、指定野生鳥獣種として指定することができる。
- ②農林水産業等に係る被害を防止するため、指定野生鳥獣種の追払い、防護柵の設置および駆除等の対策を計画的に推進する。
- ③何人も指定野生鳥獣種の個体(人が飼養又は保管するものを除く。)に飲食物を与えてはならない。
- ④市、自治公民館長等で指定野生鳥獣種による被害防止策を実施するための「地域協議会」を設置することができる。

条例案を可決し、平成24年4月1日施行とした。

わたしたちの 願い



市民の意見が陳情・請願として議会に寄せられ、社会情勢や市の財政を考慮しながら慎重な取扱いをして結論を出しました。

請願 1

B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願

わが国にはB型・C型肝炎感染者・患者が350万人いると推定され、その大半は血液製剤の投与、輸血、注射針・筒の使い回しなどの医療行為による感染が原因とされる。平成22年1月から「国の責任」における肝炎患者救済が明記された肝炎対策基本法が施行されたが、裁判で救済された患者は一握りで大半は提訴すらできず、肝炎の進行と高い医療費負担に苦しめられている。

この請願は、国に対し肝炎患者への公的支援制度等を確立し、救済に必要な法整備、予算化を要望するもので採択。総理大臣外関係機関へ意見書を提出した。

請願 2

長崎県壱岐振興局水産課と壱岐市水産課の執務室共同化に関する請願

県と市の水産課の執務室共同化のため、壱岐振興局水産課が壱岐市(石田庁舎)へ移動し、港湾・漁港班は国土交通省所管で振興局建設課内となれば、漁業協同組合の業務の利便性が悪くなるとして、壱岐市水産課が県振興局へ移動すべしとするものであるが不採択とした。(10ページに関連記事)

12月議会で決めたこと 議案と審議結果一覧表

番号	議 案 内 容	付託委員会	本会議採決結果		
報告 1	H22年度沓岐クリーンエネルギー株式会社に係る経営状況の報告				報告済
議案 1	クリーンセンター条例の制定について	厚生	12.16	全員一致	可決
議案 2	汚泥再生処理センター条例の制定について	厚生	12.16	全員一致	可決
議案 3	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	厚生	12.16	全員一致	可決
議案 4	自給肥料供給センター条例の一部改正について	厚生	12.16	全員一致	可決
議案 5	あらたに生じた土地の確認及び字の区域変更について	産業建設	12.16	全員一致	可決
議案 6	H23年度沓岐市一般会計補正予算(第8号)	予算特別	12.16	全員一致	可決
議案 7	H23年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	厚生	12.16	全員一致	可決
議案 8	H23年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	厚生	12.16	全員一致	可決
議案 9	H23年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	産業建設	12.16	全員一致	可決
議案 10	H23年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)	産業建設	12.16	全員一致	可決
議案 11	H23年度特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第2号)	厚生	12.16	全員一致	可決
議案 12	H23年度三島航路事業特別会計補正予算(第2号)	総務文教	12.16	全員一致	可決
議案 13	H23年度農業機械銀行特別会計補正予算(第2号)	産業建設	12.16	全員一致	可決
議案 14	H23年度病院事業会計補正予算(第2号)	厚生	12.16	全員一致	可決
議案 15	H23年度水道事業会計補正予算(第1号)	産業建設	12.16	全員一致	可決
議案 19	八幡浦地区特定漁港整備工事請負契約の変更について	産業建設	12.16	全員一致	可決
陳情 1	郵政改革法案の早期成立を求める陳情	総務文教	12.16	全員一致	採択
陳情 2	沓岐市の奨学金貸与制度の改善を求める陳情	総務文教	12.16	反対多数	不採択
陳情 3	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する陳情	総務文教	12.16	全員一致	採択
請願 1	B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願	厚生	12.16	全員一致	採択
請願 2	長崎県沓岐振興局水産課と沓岐市水産課の執務室共同化に関する請願	総務文教	12.16	反対多数	不採択
議員発議 1	指定外来種等による生態系等に係る被害の防止に関する条例の制定	産業建設	12.16	全員一致	可決
議員発議 2	市議会基本条例の制定		12.16	全員一致	可決
議員発議 3	市議会議員定数条例の一部改正		12.16	賛成多数	可決

12月定例会 採決状況(全員一致以外のもの)

○・・・賛成 ×・・・反対

議案	久保田恒憲	呼子好	音嶋正吾	町田光浩	小金丸益明	深見義輝	町田正一	今西菊乃	市山和幸	田原輝男	豊坂敏文	中村出征雄	鵜瀬和博	榊原伸	久間進	大久保洪昭	瀬戸口和幸	牧永護	中田恭一	賛成	反対	結果
陳情 2 奨学金制度の改善	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	1	17	不採択
請願 2 水産課の執務共同化	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	欠	×	×	○	×	×	×	×	3	15	不採択
議員発議 3 議員定数の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	17	1	可決

市山 繁議員は議長のため採決には入りません。